

発行人：飯山市長 足立正則  
編集：飯山市役所総務部  
庶務課秘書広報係  
〒389-2292 長野県飯山市  
大字飯山 1110-1  
電話：0269-62-3111  
FAX：0269-62-5990  
インターネットホームページアドレス  
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>  
E-mail：kikaku@city.iiyama.nagano.jp

## もくじ

足立新市政スタート・・・・・・・・・・・・・・・・	2ページ
飯山市長就任の「あいわ」・・・・・・・・	3
石田前市長退任・・・・・・・・	4
高橋まゆみ人形館、入館者10万人達成・・・・・・・・	5
平成21年度普通会計特別会計決算・・・・・・・・	6
保育園入園のご案内・・・・・・・・	8
飯山市議会議員一般選挙のお知らせ・・・・・・・・	11

# 第8代 飯山市長 足立正則

(あだち まさのり)

### 【プロフィール】

- 生年月日 昭和26年4月16日生
- 住所 飯山市飯山
- 学歴  
S45.3 長野高等学校 卒業  
S51.3 東京工業大学 工学部 卒業
- 職歴  
S53.4.1 飯山市役所 入所  
H13.4.1 総務部 情報政策室長  
H15.4.1 民生部長  
H18.4.1 総務部長  
H19.3.19 飯山市役所 退職  
H19.3.20 飯山市助役 就任  
H22.7.27 副市長 退任  
H22.9.15 市長 就任

# 足立新市政始動！

9月5日に行われた飯山市長選挙において、8234票の得票で当選し、第8代飯山市長に就任した足立正則市長が、任期初日となる9月15日初登庁しました。

足立市長は市役所近くの駐車場で後援者へのあいさつの後歩いて登庁し、市役所正面玄関では、待ちわびた市民や市職員など約300名から大きな拍手で迎えられました。

正面玄関に到着した足立市長は集まった皆さんへのお礼の言葉のあと、市長として市役所への第1歩を踏み入れました。

初登庁後行われた就任記者会見、職員約150名が出席した市長就任式で足立市長は、平成26年度に開業予定の北陸新幹線飯山駅の周辺整備や関連する事業などに触れ、「利便性を高めるインフラ整備や広域連携による魅力的なまちづくりを行い、若者定住や交流人口の増加を目指す



詰め掛けた市民や職員からの声援に手を振って応える足立市長

## 就任あいさつ

去る9月5日に執行された飯山市長選挙において、市民の皆様からのご信任をたまわり、飯山市長に就任させていただきました。

飯山市民一人一人が安心して任せ、発展する飯山市実現へ向けての舵取り役を任せていただいたことに対し、感謝申し上げます。

飯山市長一人一人が安心して任せ、発展する飯山市実現へ向けての舵取り役を任せていただいたことに対し、感謝申し上げます。

申し上げるとともに、その責任の大きさをひしひしと感じているところであります。全身全霊を傾けて取り組む覚悟でございます。

今まで市政を担われた石田前市長様のご功績につきま

しては、皆さん既にご承知のとおりであります。その大きな実績とご努力に対し心から敬意と感謝を申し上げます。

また、石田前市長が残された精神を引き継ぎ、さらに発展させていく所存であります。

さて、飯山市はもとより近隣市町村にとつて、平成26年度に控えた北陸新幹線飯山駅の開業は長年の悲願であり将来への大きな希望です。とりわけ開業までの今後4年間は、地域の将来像を方向づける最も重要な時期に当たります。新幹線駅の利便性を高め



市内保育園入園式の様子

るインフラ整備や広域連携のソフト事業を推進することにより、新幹線時代に向け外からの観光客を呼び込めるよう、官民連携による「魅力的なまちづくり」や若者の移住定住の推進、交流人口を増やすために積極的な事業展開を進めていく必要があります。

また、第3子以降の子どもの保育料無料化や中学生の医療費無料化を実施することにより、将来を担う子ども達への積極的な育成支援が必要であると考えています。子育て支援はもとより考える力を育てる教育や国際交流事業なども充実させていきます。

また、高齢化社会を迎え、飯山市民一人一人の健康づくりを進め、高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくりを進めます。

行財政改革については、飯山市自立計画(平成18～平成24)に基づき、職員数の削減、借入金返済などを着実に進めており18パーセントを超えていた実質公債費比率は21年度決算では17.5パーセントに改善され、引き続き減少の見込みです。

また、高齢化社会を迎え、飯山市民一人一人の健康づくりを進め、高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくりを進めます。

行財政改革については、飯山市自立計画(平成18～平成24)に基づき、職員数の削減、借入金返済などを着実に進めており18パーセントを超えていた実質公債費比率は21年度決算では17.5パーセントに改善され、引き続き減少の見込みです。

また、高齢化社会を迎え、飯山市民一人一人の健康づくりを進め、高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくりを進めます。

行財政改革については、飯山市自立計画(平成18～平成24)に基づき、職員数の削減、借入金返済などを着実に進めており18パーセントを超えていた実質公債費比率は21年度決算では17.5パーセントに改善され、引き続き減少の見込みです。

## 飯山市長 足立正則

